

茶山のさとだより

平成が終わるよ号



謹んで新年のご挨拶を申し上げます

新年のご挨拶 施設長 吉川順介

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては健やかに新年を迎えられたことと存じます。本年は、十二支の最後の「猪（亥）」年です。また、平成が終わり新しい元号になります。

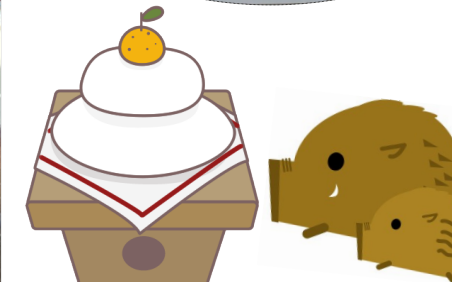
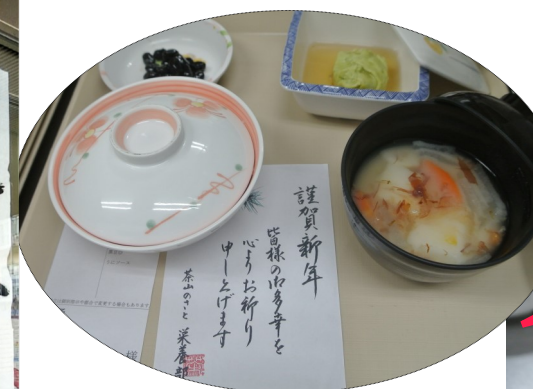
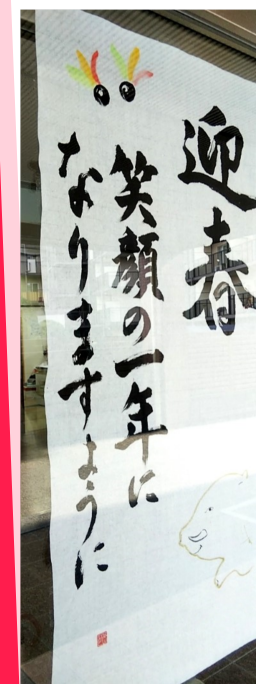
さて猪年で、「猪突猛進」という言葉が浮かびます。いい意味でも、悪い意味でも使われますが、新年に際しては良い意味で、これから1年を頑張りたいです。

茶山のさとも、開設後、年を重ねて徐々に充実さを増していますが、昨年の介護報酬の改定に伴い今後の介護施設の在り方が問われるようになりました。

老健からの在宅復帰支援、更なる高齢化社会と認知症対策等、考えなければならない問題が山積んでいます。少産多死となり出生数と死亡数の推移が、2020年にかけて、いよいよ一致するようになり2040年からは死亡数が圧倒すると見込まれています。当然人口減少が加速します。

今後は老健、在宅での平穏死、看取り、LW(リビングウィル)、ACP(アドバンス ケア プランニング)等も課題となります。皆様方と共に「猪突猛進」しましょう。

2019年元日のメニューは、昼は鯉の黄金焼き（雲丹焼）とお正月らしい煮物。夜は、ちらし寿司とお吸い物をお出ししました。お家に帰れない利用者さんに少しでもお正月気分が味わって頂けたら嬉しいです。



声かけ訓練！

10/24に高野地域包括支援センターなどを中心に、認知症高齢者声かけ訓練が取り組まれ、茶山のさとからも参加しました。

地域の方、介護保険関連の事業所の方、民生委員さんなど約30人と里の前～出町柳を練り歩き、認知症役の方に通りすがりの方が声をかける訓練をおこないました。

左京区は「やさ店(高齢者にやさしいお店)」もあり、困っていても声をかけてくれる優しい人が多くいるまちなのだと安心しました。認知症だけでなく、困っている人たちにやさしいまちであることが素晴らしいですね。



とも

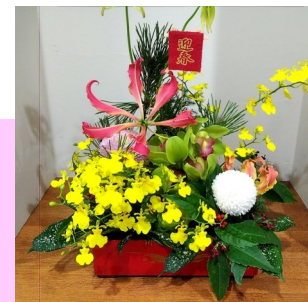
RUN伴



RUN伴は、認知症の人や家族、支援者、一般の人がリレーをしながら、1つのタスキをつなぎ、ゴールを目指すイベントです。

10/27、RUN伴に茶山のさとのスタッフ、そして縁のあるメンバーで参加しました。

当日は天候にも恵まれ、みんなで最後まで走り切りました。沿道の人たちにもたくさんアピール出来ました。



編集後記

平成もあと少しになりましたが、みなさんにとってどんな30年でしたか？ 新たな元号とともに、茶山のさとをさらに発展させていきたいと思えます！

公益社団法人信和会 介護老人保健施設茶山のさと

〒606-8237 京都市左京区田中上大久保町15
電話番号 (075)712-3663 FAX (075)712-3665



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム

園児・小学生が来所！

10/23に養正小学校から、10/30に一乗寺保育園から子どもたちが来ました。小学生は利用者さんとともに運動や手作業、お話をして交流しました。保育園児は歌やダンスで楽しませてくれました。子どもたちの無邪気な笑顔や元気いっぱいな姿を見て、利用者さんも満面の笑みで「長生きして良かったわ～」と喜ばれていました。



出前授業

12/13、近くの小学校にて車椅子体験の授業を開催しました。小学生の生徒さんたちに車椅子を実際に使用してもらいました。この授業を通して、車椅子に対する理解を深めてもらえたと思います。また、質疑応答では子供達の新鮮な意見を聴くこともできました。元気いっぱいの子供達と交流し有意義な時間を過ごせました。



通所リハビリで たこ焼きパーティー

12/11、通所リハビリの利用者さん6名が主となり、たこ焼き作りをしました。はじめは恐る恐る具材を入れていたり、ひっくり返す作業も「難しいね」と言いながら焼いていましたが、慣れてくるにつれて、豪快に具材を入れ、上手にひっくり返せるようになり、とても楽しみながら、作業されていました。

出来上がったたこ焼きは、おやつの時間にみんなで食べて、皆さん、「美味しかった」と喜んでおられました。



クリスマスパーティー

12/25、ささやかなクリスマス会を開催しました。クイズ大会と、箱の中身当てゲーム、プレゼント交換とたのしいたのしいクリスマス会でした。クイズは少し難しかったかもしれませんが…。でも、その他のゲームでは皆様の素敵な笑顔がたくさん見ることができました。楽しい思い出になりました。

